

路南ロータリークラブ会報

第 4 回 例会報告 2024.8.9 通算 1977 回

点 鐘 佐藤会長

ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 佐藤 真之介会員

誕生祝

長井 一広会員 昭和47年8月15日(52歳)

会長挨拶



みなさんこんにちは。

3週間ぶりの例会となりまして、すごく久しぶりの感じがいたします。

と、言いつつも今月も来週からお盆時期に入りますので、本日の例会を行いまして次にお会いするのはまた2週間後となります。時節柄、帰省やお墓参りなどで各方面に行かれる方もいらっしゃると思いますので、交通事故をはじめとした事故にはくれぐれもご注意くださいと願います。

また、昨日宮崎県東部の日向灘を震源とする震度6弱(M7.1)の地震がありました。地震は天災ですので注意してどうこうなる問題ではありませんが、今回話題となっておりますが甚大な被害ををもたらすという「南海トラフ地震」との関連性です。南海トラフ地震につきましては、30年以内にマグニチュード8~9クラスの発生率が70%~80%とされています。

一方、身近なところでいきますとこの釧路地方も「千島海溝地震」の影響を大きく受ける地域となっております。この千島海溝地震の発生確率も「南海トラフ地震」同様に30年以内にマグニチュード8~9の発生率が60%以上と高くなっております。是非とも事故と同様に防災意識にもご留意いただければと思います。

同じく時期的な話題で行きますと、パリオリンピック・パラリンピックでしょうか。個人的には、北海道に生まれ育ちましたので、冬季オリンピック・パラリンピック

幹事報告



の方が地元および道内出身者が多く親近感を覚えるのですが、今回の大会でも倶知安町出身で苫小牧在住の開心那選手がスケートボードで2大会連続の銀メダル、またバドミントンでは岩見沢出身の東野有紗選手が混合ダブルスで銅メダル、を筆頭にまだまだたくさんの道内出身選手がメダリストまたは出場をされています。そんなオリンピックも残り3日となりましたので引き続き寝不足にならない範囲で応援したいと思います。

さて本日のプログラムは「ガバナー公式訪問例会を前にして」となっております。昨年より「クラブ協議会」や「ガバナー公式訪問」の進め方も変わりました。この新しい進め方にまだまだ試行錯誤の部分があり、数年ぶりにこの例会を儲けさせていただきました。

このあとの例会の中でもふれますが、今年度の「ガバナー公式訪問」における意見交換会のテーマは「会員増強・DEI 推進について」という事でとの案内がきておりますのでご周知のほどよろしく願いいたします。

併せて今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」となっております。

今月もスケジュールの関係で「ロータリー月間の例会」を設けておりませんのでこの会長挨拶の中にほんの少しだけ組み込ませていただきますと、

会員増強はロータリークラブに限らず、他の各団体においても喫緊の課題であるかと思えます。私が所属しております「損害保険代理業協会」や「釧路地方法人会およびその青年部」も会員減少が著しく、少子高齢化、人口減少、企業数の減少、そしてこの北海道においては札幌の一極集中の中でどうするべきかは今までも、そしてこれからも永遠のテーマになっていくと思えます。

会員増強の活動をしていく中で、正直「ロータリークラブって何？」とおっしゃる方も少なくありません。

勧誘の際にそこからスタートする難しさを感じる時もあります。せっかく素晴らしい奉仕団体なのですから、RIや地区も、もっと外部へのコマーシャルの発信に費用と力を注いでいただき、今までのロータリーを知らなかった方々がいろいろなメディアからロータリークラブを知っていただき、ロータリークラブの奉仕活動をご理解、賛同をしていただき、そして最終的には「会員の大きなステータスに繋がる」という循環が出来れば、と個人的には思っております。

それではお時間の都合もありますので、あとは例会にて、佐久間幹事のもと、23日の「ガバナー公式訪問」に向けての段取りの確認と共有をお願いをさせていただきます。そして会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしく願いいたします。

1. 8月のロータリーレートは1ドル154円です
2. 『国際ロータリー第2500地区 2024-25年度 ガバナーエレクト事務所』開設のご案内が届いております
3. 釧路ロータリークラブ様・釧路北ロータリークラブ様・釧路西ロータリークラブ様・釧路東ロータリークラブ様・釧路ベイロータリークラブ様・根室ロータリークラブ様・浜中ロータリークラブ様から8月の例会案内が届いております
4. 根室ロータリークラブ様から会報が届いております
5. 国際ロータリー第2580地区より「第22回ロータリー全国囲碁大会案内状」が届いております
6. RI日本事務局から、『財団室 NEWS 8月号』が届いております
7. 釧路ベイロータリークラブ様より例会場変更のお知らせが届いております。
8. 『ロータリーの友 8月号』が届いております
レターボックスに入れておりますので、お持ち帰りください
9. ガバナー事務局より今年度地区補助金事業の内容承認が決定しました、
こちらは1月にWP会場内にて活動を行います
が、詳しい内容は決定次第お知らせしますので、
ご協力お願いいたします。
10. こちらの紙ベースの例会案内になりますが、今月より廃止になりましたので
必要な方はメールで来る資料を各自で印刷お願いします。

・本日のプログラム

「ガバナー公式訪問例会を前にして」

担当 会長・幹事



亀井会員増強委員長

私たちは、ロータリーのあらゆる活動において、「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI)を受容し、行動で示すべきであると信じています。「ダイバーシティ(Diversity)」とは、日本語で「多様性」と訳される。組織や集団において、人種や性別、宗教、価値観などが異なるさまざまな属性の人材を迎え入れ、共存しながら、それぞれが持つ能力や考えを活かす取り組みを言う。インクルージョンとは、直訳で「包括」「包含」「包摂」などを意味する言葉です。ビジネスにおいては、企業内すべての従業員が尊重され、個々が能力を発揮して活躍できている状態を示します。

包摂的とはとは、一つのことをより大きな範囲に入れることを指す包摂(ほうせつ)に「的」を組み合わせて用いることで一つに含めるという状態や状況のことを意味する表現。【出典：[「包摂的\(ほうせつてき\)」の意味や使い方 わかりやすく解説 Weblio](#)】

●「ダイバーシティ」と「インクルージョン」の違い

ビジネスにおいては、「ダイバーシティ&インクルージョン」がセットで語られることが多い。なので、類似していると捉えられがちだが、厳密には意味が異なる。インクルージョンとは、年齢や国籍、性別など色々な属性を持つ人々を同等に認め、違いを受け入れることによって、各自の能力を発揮する職場づくりのことを言う。

多様な人材が集まっている、同化している状態そのものを指すのが「ダイバーシティ」であるのに対して、インクルージョンはそうした状態が発展し、多様な人材が統合しながらも、それぞれが生き生きと働いている状態を意味している。

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ(包摂的)な文化を培うことが不可欠であると理解しています。私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

・次回のプログラム

8月23日(金) 18:30~

「ガバナー公式訪問例会」

会場 ANA クラウンプラザホテル

担当：会長・幹事

点 鐘

佐藤会長

今週の会報担当：佐藤 真之介会員